



世界に希望を生み出そう
RI会長 ゴードン R. マッキナリー

2023-2024年

Rotary

District 2640

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 岸 友子 幹事 角谷 太基 SAA 田中 祥秀

第 2182 回例会

2024 年 6 月 10 日(月)

海南商工会議所4F 12:30～
IDM 報告

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 24 名
出席義務規定適用免除会員 2 名
出席率 63.58% 前回修正出席率 92.11%

4. 会長スピーチ

会長 岸 友子 君

みなさん、こんにちは。いよいよ梅雨の季節ですね。今年は例年より梅雨入りが遅いようで、沖縄・奄美が 5 月 21 日頃、梅雨入りしたのに続き、昨日四国が梅雨入りしました。近畿も6月中旬には入ることでしょうが、ここ1週間は晴れで暑い日が続くようですので熱中症に気を付けてください。梅雨入りといえば昨年 6 月 2 日の線状降水帯による豪雨被害が思い出されます。大雨に十分注意してください。また、ジメジメとしてうっとうしい毎日で気分的に滅入ったり、気温もかなり高くなる日が多く蒸し暑くなりますのでお身体に気を付けてください。



本日は、5 月末に開催されたIDMの発表です。今回のテーマは「次年度委員会別活動計画」で、今回も 5 組各組高い出席率で、次年度の委員会の取り組みについて熱心に話し合ってくれたことと思います。今まで自分が何の委員会に入っているのか、その委員会はどのような活動をしなければならないのかということを、なかなか例会の中で話し合うことは難しかったと思いますが、IDMという形で、年度開始前にじっくりと話し合えたことはよかったと思います。発表の方よろしくお願ひいたします。

今週の 6 月 13 日(木)、今年度の最終理事会と次年度理事会が開催されます。最終うまく締められることを願っています。

6月はロータリー親睦活動月間です。

5. 幹事報告

幹事 角谷 太基 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山 RC 6月25日(火) 18:30～

ダイワロイネットホテル和歌山4F
(最終夜間例会)

○例会休会のお知らせ

田辺 RC 6月20日(木)

6. IDM 報告

◎1 組

発表 岡 洋平 君

日時、場所:5月30日(木)

19:00～ 美登利

メンバー:リーダー 楠部、副リーダー 岡、谷脇、山東、中西、前田誠、楠山、新垣 合計8名

テーマ:クラブ管理運営委員会

(例会運営、親睦、研修・情報規定)



①例会運営

食事・座席・時間割等について改善や要望を聞くこともあり、一度アンケートを取らせてもらうことも検討している。

宮崎では食事はないがその分中身の濃い例会になっておりテーマなども含め運営が大変。

例会時間の中で60%は時間を費やさなければ例会として認められない。

予算のこともありショート卓話を設けたり、ニコニコの数を積極的に増やし事業費用に充てられるようにしたい。

現状、食事やテーブルの準備も含め、銀鈴さんにお世話になっているが他クラブを考えると非常に恵まれている。経費面も合わせ考えるとお弁当なども検討できるのでは？テーブルの準備など大変になるがやってみるのはどうかという意見も出ました。

②親睦

50周年事業もある中でそれぞれのイベントに会員皆様とご家族にも楽しく参加していただければと考えています。ご家族の年齢もあり参加が少なくなっている現状ではあるが今回の家族例会のご家族の参加がいつもより多く感じたのは京都祇園での食事が喜ばれたのではというお話が出ました。

今年度も楽しみに参加していただけるような案を

四つのテスト 是非はこれにたもてから

①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

Rotary



世界に希望を生み出そう

事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

http://www.kainaneast rc.jp

E-mail: info@kainaneast rc.jp

話し合いたいと思います。

③研修・情報規定

新入会員の研修もしているが1回聞いたぐらいでは覚えていないのが現状。関心を持ったうえで聞かないと覚えていないものと思うので、改めてロータリーの歴史や組織について教えていただく。

他話の続きとして5大奉仕に触れられ(1クラブ 2職業 3社会 4国際 5青少年)職業奉仕が金看板であり卓話でそれぞれが自らの職業奉仕について話をしはどうか、話す準備をすることで職業奉仕に思いが至るということを聞き、感銘を受けました。

◎2組

発表 田岡 郁敏 君

日時 5月30日木曜日午後7時から

場所 美登利

参加者 花畑、角谷、魚谷、岸、千賀、田岡 6名

欠席者 田中祥、土井 2名



前回の IDM が会員増強に対してのもので既にいろいろな対策や、候補者も個人名も含めて数名出ていました。今回の話はとにかく意欲的積極的にチームを組んで候補者にアプローチしていこうというものです。こういう人がいますというところで止まってしまうとズルズルと時間がたってしまうのが現状だと思います。当たって砕けてもくじけずに勧誘しましょうということが結論になりました。

クラブの会員増強の意味としては、多くの有能な人物が我が海南東ロータリークラブに入会していただくことで、会が活性化し更なる増強に対する人脈ができるということです。

今までのように電話でアポを取った後、家や仕事場にお邪魔して訴えることのほか、会で行うイベントに参加してもらったり、今回行ったような IDM に呼ぶという意見もありました。

過去に卓話に来ていただいた方々の中にも海南や紀美野町のことを考え奉仕活動や仕事に取り組んでいる方はたくさんいらっしゃいます。今彼らが行っている事業には決して障害にならないことを説明する必要はあると思います。

また将来の海南東ロータリークラブを考えると 40代 50 代前半の次の世代に入会していただくのが必須となります。

また入会が実現した折には 1人で来て例会終了とともに 1人で帰るということがないよう紹介者はもとより会全体でケアしてあげることが必要だと思います。

ごく一部の人だけが増強に一生懸命になるということではなく会員一人一人が人数減の、マイナス効果を認識して立ち向かうことが大事だと思います。個別的な名前はほぼ前回と同じではありましたが多くの会員が候補者を推薦することで新しい人材の発掘になるという意見がありました。

とにかく次年度はまず4名の会員増強を目標にし

たいと考えています。

また会員増強と同じぐらい大事なことは退会防止です。参加したいと思われるイベントを行うことで会員の積極性を高め、お互いの交流を行うことによって会員の退会防止をしたいと思います。年齢的とか、体の調子が悪いとか様々な理由はあると思います。来期は海南東ロータリークラブの創立 50 周年を迎えます。もし節目で一区切りとか考えている方がいらっしゃいましたら是非考えを改めていただき今後ともに一緒に頑張っていたいただけたらと思います。また夫婦例会や家族会にできるだけご家族に参加していただきご家族同士の交流を深めることや、ロータリー活動を家族に理解していただくことが、長く会員でいられる秘訣だと思います。

◎3組

発表 前田 克仁 君

日時 5月20日(月) 19:00

場所 うたげ

テーマ 公共イメージ向上委員会の活動

出席 前田克仁、大江、寺下、重光、箕島、倉橋(6名)

欠席者 岩井



①広報 IT 委員会

ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上を図る。創立 50 周年記念事業のアピール

- ・海南地域のイベントへ積極的に参加 = ふるさと海南まつり
- ・ロータリーデーとしての清掃活動の実施 = 3 クラブ合同清掃活動
- ・ホームページ、SNS (Facebook) に活動内容を掲載、50 周年記念事業ページの設置
- ・報道機関へのアピール わかやま新報など
- ・創立 50 周年記念事業 = 尾木ママ講演会への参加を広く一般市民から募集

②クラブ会報、雑誌委員会

- ・週報を作成、HP、LINE へ掲載することで情報を共有
- ・活動記録を電子データで保存
- ・「ロータリーの友」電子版購読の LINE を使った啓蒙 URL、ID、パスワードの連絡(半期ごとに変更)

◎4組

発表 田中 淳 君

日時、場所: 5月27日(月) 19:00 ~ うたげ

出席者: リーダー田中淳、副リーダー上野山雅也、

中村俊之、奥喜全、

オ力昭浩 5名

テーマ: 次年度の奉仕プロジェクト

委員会(社会奉仕、職業奉仕)の活動

①社会奉仕についての参加者意見

- ・前年度に実施していた奉仕活動(①海南市、紀美野町社会福祉協議会との災害時における協力体制における協定②フードバンク代行事業への支援③子ども



も食堂への支援④清掃活動)は継続する。

- 子ども食堂には本当に何を必要としているのかよく聞き取りをして支援を行うようにする。
- 黒江を活性化させるために人を集めるイベントをしてはどうか。また、街灯への支援も良いかも。
- 子どもの健康のために楽しく体を動かすようなイベントをしてはどうか。
- 毎年実施している清掃活動とは別に温山壮のような公園の清掃活動を追加しても良いのではないか。
- 近年では運営に対して予算が不足している状況があるので、奉仕活動全般について見直しをしても良いのではないか。
- 余談となるが、50 周年記念事業で実施する講演会も立派な社会奉仕活動となるのではないか。

②職業奉仕についての参加者意見

- 会員の会社を訪問して職場見学を実施してはどうか。
- 会員全員が地域社会に貢献できるように、高い職業倫理をもって日々仕事に取り組んでいただくように活動する。

③次年度奉仕活動報告案

- 奉仕プロジェクト委員会
地域社会の状況をリサーチし、地域のニーズに応じた奉仕活動を行います。
- 社会奉仕委員会(青少年奉仕含む)
前年度の奉仕活動を継続し、地域ニーズに応じた新しい事業を極力支出をおさえて実施します。
- 職業奉仕委員会
会員全員が、高い職業倫理をもって日々仕事に取り組んで、地域社会に貢献できるように取り組みます。

◎5 組

発表 榊原 由希子 君

日時、場所:5 月 31 日(金)

19:00~うたげ

参加者:宇恵、山名、上中、桑添、
山畑、総田、花田、小椋、榊原
(9名全員参加)

テーマ:ロータリー財団の今後の活動計画



◆ロータリー財団とは

国際ロータリーのロータリー財団は、「世界でよいことをしよう」を標語に、1917 年に基金として発足し、1931 年に信託組織となり、1983 年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となった。ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的、教育的目的のためにのみ運営している。

ロータリー会員からの寄付を、世界中の人びとへの奉仕に役立て、ポリオの撲滅や平和の推進といったロータリーの優先活動のために有効に活用されている。(寄付には 3 種類ある。)

◆補助金について

ロータリー財団は世界中で、会員が主体となって実施するプロジェクト、奨学金、研修を幅広く支援す

るための補助金を提供している。補助金には「地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類がある。

補助金は 3 年前の寄付実績によって決まる。

※海南東ロータリークラブでは、「地区補助金」を使用して、主にフィリピンへの国際奉仕活動を毎年行っている。

◆今までの活動について

以前の国際奉仕活動は地区が主体で行っていたが、2003 年頃から会員が国際奉仕を身近に感じられるようにと、クラブ主導に切り替わった。海南東ロータリークラブでは比較的近いアジアの国がよいということで、フィリピンと毎年交流を始めた。(セブ島、ルパン島など)多いときには地区から 54 名が参加しマングローブ植林やパソコンや TV を 100 台支援したことも。他にソーラーパネル、学校用教材、ミシン、給水設備、離島への水タンク、学校への手洗い設備など毎年支援を行っている。海南東ロータリークラブから会員と家族が多数参加している。

◆次年度の事業計画について

今年度に引き続き、フィリピン・セブのトイレ整備(水と衛生)と、環境保護プロジェクトの事業計画を地区に申請している。

◆その他の意見から

- 最近ではコロナ禍でフィリピンのメンバーと顔を合わせて交流する機会が少なくなったので、現地とコミュニケーションがとりにくくなっていた。7月にフィリピンのマングラウエ・イースト RC の 40 周年記念への参加が対話の機会になればと思う。
- 日本国内でも様々な支援が必要だが、世界の奉仕活動に視野を広げることで地元の課題解決のヒントになれば。以上の話があがりました。

7.閉会点鐘

次回例会

第 2183 回 2024 年 6 月 17(月)

ゲスト卓話 フィジカルトレーナー 関 様



ニコニコ・BOX

田岡 郁敏 君 通り道にハクビシンがいた。気を付けて下さい。

IDM 残金 2組 3組 4組 5組

Rotary NEWS

6 月は「ロータリー親睦活動月間」

「ロータリー親睦活動月間」は、自分の趣味、関心、職業を土台としてつながりを築く絶好の機会です。ロータリー親睦活動グループへの参加、または新しいグループの結成をご検討ください。親睦活動グループは、共通の関心をもつ国際的な参加者から成る、

独立して結成されたグループです。活動やネットワーキング行事を主催したり、世界中で専門能力開発の機会（バーチャル形式も含む）を提供したりしています。正式に認定されている親睦活動グループは100以上あり、ロータリー世界各地から集まる人たちがつながり、素晴らしいコミュニティを形成しています。こちらのリストを参照し、自分の関心にあった親睦活動グループを探してみましょう。新しいグループの結成に関心がある場合は、

rotaryfellowships@rotary.org までご連絡ください。

ロータリーには 人生観を変えるような貴重な体験ができるプログラムがあります

ロータリーの活動は、世界各地で変化をもたらし、「世界でよいこと」を可能にしています。

ロータリー財団への寄付は、支援を最も必要とする地域社会でプロジェクトの資金として生かされています。しかし、私たちにできることはもっとあります。

ロータリー会員は日々、問題に取り組み、新たな課題への解決策を見出しています。皆さまのような会員が奉仕に参加し、財団への寄付を寄せてくださることによって、より大きなインパクトが生まれます。



安全な水の提供:カンボジアと台湾のロータリークラブは、東南アジア最大の淡水湖であるトンレサップ湖の水上市場で、浄水設備を設置するために協力しました。

疾病予防と治療:世界各地のロータリークラブが、人びとの健康を促進することで地域全体を強化しています。米国ウィスコンシン州とミネソタ州のクラブは、健康保険がない人たちに無料の医療サービスを提供



する移動式クリニックの活動を実施しました。韓国では、視覚障害のある人たちがサイクリングを楽しめるようロータリークラブが支援しました。



地域経済の成長:小口融資の力を借りて家族を貧困から救ったウガンダの女性たちは、ほかの起業家のエンパワメントを目指してロータリークラブを設立しました。

環境の保護:グローバル補助金奨学金を得たギャビ・フルーリーさんは、保全生物学を学び、近年に顕著となっている人と野生生物の間の問題に対して地域社会がソリューションを見つける支援をする「人と野生生物の橋渡し」となりました。



教育の推進:グアテマラ識字プロジェクトでは、何十年にもわたって識字率向上の活動が行われ、子どもたちが退学せずに学校へ通い続けられるよう支援しています。

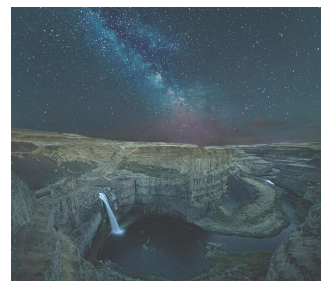
ロータリー財団の年次基金(シェア)または皆さまが関心のある重点分野を指定してオンラインでご寄付いただくか、寄付送金明細書をお送りください。皆さまからのご寄付で、上記のようなプロジェクトが可能となり、「世界でよいこと」を継続していくことができます。

『Rotary』誌フォトアワードの受賞作品

2024年『Rotary』誌フォトアワードの受賞作品をご紹介します。今年のアワードには856点もの応募がありました。その中から選ばれた作品は、神秘的なものから活動の大切さが伝わってくるものまでさまざまです。

最優秀作品

撮影者:Keith Marsh
Silicon Valley ロータリーEクラブ(米国)



最優秀作品:世界を変える行動人

撮影者:Joshua Uwagboi
Abuja Wuse II ロータリーアクトクラブ(ナイジェリア)

